



会報

やまぐち

No. 43

平成元年

8月発行

第42回定時総会開催
新役員紹介



山口県土地家屋調査士会

第42回 定時総会開催

平成元年度定時総会が、5月23日小郡町の山口グランドホテルに於いて開催されました。今回は、会費値上げという大きい議題があり、多くの意見が出されました。又、役員改選では、新本会長、兼川副会長、竹内副会長が重任、そして新たに高田副会長が就任いたしました。



表彰おめでとうございます

1. 山口地方法務局長表彰

(1) 功績表彰

岩国支部	弘田	達朗
徳山支部	富永	輝雄
山口支部	小倉	六祐
〃	小嶋	慎一郎
宇部支部	兼清	遵寿
下関支部	溝口	保二

(2) 永年表彰

岩国支部	水戸	謙一
〃	菅野	満男
〃	是国	晴一
徳山支部	山本	保一
〃	松田	昌祐
萩支部	官垣	高明
下関支部	八田	一代

2. 日本土地家屋調査士会連合会会長表彰

下関支部	溝口	要
------	----	---

徳山支部	松原	英夫
------	----	----

3. 山口県土地家屋調査士会会長表彰

(1) 功績表彰

山口支部	小嶋	慎一郎
------	----	-----

山口支部	綿谷	脩
------	----	---

(2) 永年表彰

岩国支部	是国	靖人
〃	中村	孝人
徳山支部	松本	憲太郎
防府支部	林	悦郎

〃	松永	郁夫
萩支部	本田	重夫
宇部支部	武田	光夫
〃	藤井	匡夫
下関支部	川原	長夫
〃	山本	智



副会長就任のあいさつ

総務部・経理担当副会長

乗川 良介

去る平成元年5月23日の山口県土地家屋調査士の第24回定時総会には平日にも拘らず、多数の会員の皆様のご出席の基、盛会裡に終了させて頂いたこと、先もってお礼申し上げます。

又本総会において、私ごと三度副会長に選任され、去る7月1日開催の理事会で秘書、経理担当副会長の命を受けました。

前期も総務を担当したのでありますが、御承知の通り、要項規程、顕彰規程の見直し、会員の広告、講記に関する基準の改定等、会員各位の地位の向上に、又積極的業務を通じての会のPRに活動由来易い体勢作りに配慮しつつ、業会発展の一助となれば幸いと存じているところでございます。

今年は役員改選期でもあり、各理事も大きく交替され、且つ理事の平均年齢も43才と若

返り、一層袖の乗切った、人性の充実期にある方々で心強く感じているところでございます。私も幸い公職の理事長も社員の皆様のご協力により年度の三期を終え、お慶様で好決算を得ながら選任させて頂くことが出来ましたので、今後は新役員の皆様と力を合わせ、山口県土地家屋調査士の為一擲の努力をさせて頂く覚悟でございます。山口会23名の各会員の、御意見も充分に取入れ、来る21世紀に対応する業会のあり方を総務部事業を通じて考えて行きたいと張り切っておりますので倍旧の御助言、御協力をお願い申し上げます。副会長就任のあいさつと致します。

尚新年度の各役員のご担当は4頁の通りです。会員名簿が出来上がるまでの間参考に御利用下さいませ合わせて御通知致します。

平成元年8月吉日

信頼をお届けします

UBEX

株式会社ウベックス

本社 宇部 (0836) 21-1147
下関営業所 下関 (0832) 22-0113
山口営業所 山口 (0839) 23-0380

FUJI XEROX

取扱商品

- 複写機(ゼロックス)
- ワークステーション
- ファクシミリ ●ワープロ
- パーソナルコンピューター
- オーバーヘッドプロジェクター
- その他O.A.関連商品

宇部営業所 宇部 (0836) 21-1147
防府営業所 防府 (0835) 21-7771
萩営業所 萩 (0838) 6-0431



副会長就任のあいさつ

広報部・公共事業部担当副会長

竹内 重信

土地家屋調査士の職制を、いかに広報すれば、より国民に認知してもらえるだろうか。呼称の改名や、法の位置づけ等を見直す考えもあるかもしれない。否、それよりも前に、今の我々自身が、もっと権威ある作業広告をすることが不可欠であろう。会報やま

ぐちの充実や、公共事業部関連、公債協会との連携業務などと、あれこれ思いを巡らす平成元年度、忙しくなりそうである。微力ながらも任務に添い、実のある活動に努めたいと思っております。



副会長就任のあいさつ

企画部・厚生部担当副会長

高田 吉雄

此の度は計らずも下関支部より推薦を賜り、第42回定時総会に於きまして副会長を拝名致し、7月の理事会にて企画部厚生部担当副会長としてスタート致しました。前期に於る企画部長の時さえも満足な働きもしておらず、当時の担当副会長をはじめ、部員の皆様に支えられる事が多かった事を考えますと、この職責の重さに身が震える思いが致します。幸いお2人のベテラン副会長をはじめ、企画厚生担当の理事の方々のベストメンバーに恵まれていますので、1年生副会長として勉強しながら、精いっぱい努力してゆく所存であります。さて6月19日20日に開催されました日調連の第45回定時総会では、平成元年度の事業計画の中に企画部として

- 1 報酬の基準の改善研究
- 2 業務の改善研究(土地境界確認に関する)
- 3 関係法令等の研究(不登法、準則)
- 4 研修体制の充実(研修制度の検討、報酬促進用基準の指導、調査測量実施要領の

指導、研修テキストの検討 等があげられ厚生部としては

- 1 共済制度の推進
- 2 保険制度の研究
- 3 親睦に関する事項(各種同好会の実施)等があげられました。我々単位会としても、これらの重点目標を踏襲しながら会員の地位向上に努めねばと思う次第です。特に技術的には法務届のブックレス化にあるようにデジタル化が進んでいます。土地の高騰と共に私連土地家屋調査士の職責もますます重くなってゆく傾向にあります。研鑽を積みながら、プロとして技術の向上に努め、良い仕事をして、それに似合った報酬体系を確立してゆく事が急務のように思えます。平均年齢43才の理事の皆様を支えられながら、会員の皆様のご協力とご理解を賜り、会長とお2人の副会長の足を引っばらないよう任期を務める所存です。よろしくお願い申し上げます。

本部新組織決定!

平成元年7月1日に役員合同会議が小郡町のホテルみやけで開催され、下記のとおり新組織が編成されました。よろしくお願いします。

会 長

新本 清人(岩国)

部 名	総務部・経理部	公共事業部・広報部	企画部・厚生部
担当副会長	乗川 良介(徳山)	竹内 重信(萩)	高田 吉雄(下関)
担当理事 ◎印は部長	◎八木 哲郎(山口) 平井 敏生(岩国) 福田 真一(下関) 友景 稔(防府)	◎田中 拓朗(徳山) 鶴巻 栄一(宇部) 野上 茂樹(山口) 河村 誠一(岩国)	◎三好 一敏(萩) 山本 紀夫(徳山) 河崎 正則(宇部) 田代 雄三(下関)

綱紀委員会 ◎印は委員長	◎原田美三男(徳山) 野村 幸人(山口) 太田 勝次(下関)	井尻富士男(岩国) 小林 章(萩)	林 悦郎(防府) 本光 誠二(宇部)
-----------------	--------------------------------------	----------------------	-----------------------

予備綱紀委員	中本 満生(岩国) 浅原 薫(山口) 鶴田 勝巳(下関)	戎谷 武雄(徳山) 長田 幸三(萩)	堀田 盛登(防府) 松岡 博(宇部)
--------	------------------------------------	-----------------------	-----------------------

監 事	細野 毅(徳山)	中野 佳裕(萩)	無敵 栄介(下関)
-----	----------	----------	-----------

事 務 局	事務長 嘉村 復亮	事務員 疋田美代子
-------	-----------	-----------

相 談 役	西山 雅敏(防府)
-------	-----------

名 誉 会 長	三好 敏夫(萩)
---------	----------

〈燃える理事の一言〉

各理事さんからコメントいただきました。



八木 哲郎

平成元年 気持ちも新たに
ゴーゴー（笑）頑張ります

平井 敏生

役員会に出席することのみを、
理事の目標としている田舎者で
す。



福田 真一

理事三年生です。会員のため
に、前力ながら頑張りたいと思っ
ております。

友景 稔

会員の皆様方の御指導、御協
力を糧に御座りますが努力いたし
ます。



田中 拓朗

広報部と題目にして、部長の
大役仰せ付けられました。元気
いっぱいガンバリます。

鶴巻 栄一

この度、広報部に所属しまし
たが仕事の内容が良くわかりませ
ん。諸先輩方のご指導のもと
頑張ります。



野上 茂樹

他の役員の方の足を引っ張り
ながら2年間頑張ります。

河村 誠一

理事は自覚研鑽の場、勉強と
思っていますのでよろしく。



三好 一敏

2年別企画視の活動が、会
の活性化の足かせとならなけれ
ばよいが心配です。手抜きせず
に勉強きながら頑張ります。

山本 紀夫

本理事就任にあたり、会の
発展のために微力を尽す所存で
す。



河端 正剛

企画担当理事になれたことは
光栄です。責任を痛感していま
す。調査士の発奮のため若い
力を結集して新風を巻き起こし
ましょう。

田代 雄三

本理事という重責を果たせ
る様一生懸命努力したいと思
いますので宜しくお願ひ致します。





就任のあいさつ

綱紀委員長 原 田 美三男

不肖、私は再び綱紀委員長に就任することとなりました。

その任に値しない浅学非才でございますが、このたび綱紀委員に就任されました先生方のご協力を得まして、何とか微力を尽くさせて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

就任早々でございますが、会員の皆さんにお願いすることは、会則を遵守されて土地家屋調査士の、品位保持とその業務改善進保と業務の適性化を図るとともに、社会的信用の保持に努力されることを願って、綱紀委員長就任のあいさつといたします。

各支部長の抱負



支部長会議長
徳山支部長 宮 崎 晴 雄

開業してから18年、年齢44才にして支部長をおおせつかりました。経験豊かな諸先輩の先生方とお若い先生方のちょうど中間に位置して、双方の先生方のご意見等大変よく理解できる年齢に達しております。

支部長といえば何といても支部を代表するものです。支部の皆様方の意見を本会によく反映いたしまして、支部はもとより本会の発展のために寄与いたす所存でございます。



支部長会議副議長
徳山支部長 上 村 栄

この度の支部長選任で重任の命を受け、先日の理事・支部長合同部会に出席した際、他支部（8支部共）新任で平均年齢44才前後と若返り、一期努めました私方が先輩面するのも恥ずかしい次第です。

所信としては「……よりも」の心構えで支部会員の掌握を計り今期大過なく活動が出来

ることを望んで居ります。

当支部は幸い本年度・本部主催の史跡探訪を11月12日（日）に引き受けする事になってますが、是非とも県内会員各位が未読され前述しました当支部の成果批判を仰ぎ抱負と致します。

岩国支部長 東 章

去る6月17日支部総会に於いて計らずも、支部長の大役を仰せ付かりました。若輩者で且つ1年生支部長の私にとりまして重責であり、任務の遂行に重任を感じております。

本年は年号も新たになりました。世の中の目まぐるしい進歩に伴い会員の皆様も業務内容の複雑多岐に対応しながら日々邁進しておられるのではないのでしょうか。

私も会員の皆様の御協力を得まして、不慣れなポストではありますが、先輩の業責を見習い無事任期満了まで勤めたいと思っておりますので有您な御意見と御協力をお願い致します。



防府支部長 山根 勇

防府地区内の経済環境は、JRの鉄道高架事業、駅南町区画整理事業、マツダ防府第2工場建設の決定等でここ10年間に大きく変化しようとしています。これに伴い我々の仕事も増大することが予想される訳ですが、全員24名が研鑽を重ねこれに対応していかねばなりません。現在60才10名、60～50才6名、50～40才3名、40～30才5名の構成です。全員が麻和を誇りつつ力をあわせ質の高い業務を行うよう心がけ、社会からより信頼させる調査士として活動できるよう努力していきたいと思っております。



山口支部長 青木 正治

前支部長より、若い支部長さんが、多いのでやってみろと言われ、私も何事も経験と思い引き受けましたが、責務の重大さに困惑している状態であります。支部長の役割である会員相互の情報交流、本部活動とのパイプ役として、特に若い調査士が情熱をもって、日常業務の円滑運営ができるよう情報交換を行ない会の発展の為、頑張ってゆく所存でありますので、会員の温かい御協力を纏わりますようお願いしまして、御挨拶とします。



宇部支部長 高野 一夫

いつのまにか支部長を仰せつかる類番になってしまった。入会当時には予想もしなかったOA化の波は測量の質とプロセスを変え、不動産の細分化、商品化は良くも悪くも業務の形態を変えた。我が会も今、新たな変化を要求されようとしている。黎明期に先人が残された難かしい土台や柱の上の、小さな梁の一つにでもなれば幸いである。



下関支部長 米原 茂樹

我々土地家屋調査士は、業務に於いて一線にあるもので業界でも同一に協力すべきものと認識しています。支部長としてもその気持ちで行動しようと思っております。



山口地方法務局職員名簿

(平成元年4月1日現在)

山口地方法務局

局長	藤田典人
次長	兵藤昭治
(総務課)	
課長	松井 瑛郎
補佐	藤 夫 明人
庶務係長	金子邦人
人事係長	井上 敏 徳
供託専門職(併任)	西村 昭 博
登記専門職	重田 勉 洋
事務官	中村 公 さおり
"	田村 昌 代
"	藤村 義 真
技官	三津田
(会計課)	
課長	後藤 健 公代
主計係長	釜谷 和 衛
用度係長	松下 隆 康
営繕主任	林 久 豊 広
登記調査官	久富 村 治 穂 英 幸
事務官	稲 金 沢 中 博
"	田 阿 武 美代子
技官	富田 礼 子
(登記部門)	
首席登記官	藤川 哲 清
統括登記官	増田 和 美
"	前田 親 男
表示登記専門官	石崎 川 俊 弘
"	中 有 井 幸 治 子
登記官	河村 中 昭 子
"	田 井 静 秀 仁
登記相談官	高森
登記調査官	
"	

登記専門職	井上 進
事務官	町田 主 司
"	杉原 誠 二
"	横山 孝 秀
事務補助員	堀見 菊 子
事務補助員	三原 幸 一
"	藤本 猛 子
"	中村 恵 子
(戸籍課)	
課長	大野 英 雄
戸籍係長	安田 讓 夫
国籍係長	高杉 伸 彦
事務官	中村 和 清
"	有 吉
(供託課)	
課長	伊香賀 静 雄
供託係長	梶 西 山 義 治
事務官	
(訟務部門)	
総括上席訟務官	土肥 一 之 之
上席訟務官	中原 宏 勉
訟務官	横山 好 信 盛
登記専門職(併任)	富永 勝 盛
(人権擁護課)	
課長	黒瀬 寿 之 裕
人権擁護係長	小吉 武 丈 治
人権相談主任	
美祿出張所	
所長	中野 好 彦
登記官	佐伯 誠 勉
登記専門職	浅山 田 謙 治郎
事務官	
阿東出張所	
所長	野村 幸 子
事務官	後藤 鋭 輝
防府支局	
支局長	上矢原 節 美

総務係長	山 藤 彦
統括登記官	飯田 宗 厚
登記官	安田 敏 直
"	原田 光 男
登記相談官	村田 芳 行
登記調査官	竹内 崎 輝
登記専門職	岡村 亮 子
"	妹尾 祐 志
事務補助員	江 浪 登 志子
徳山支局	
支局長	中野 久 雄
支局長補佐	品川 寿 興
総務係長	松村 正 博
統括登記官	加藤 芳 敏 也
登記官	福井 水 馨
登記調査官	河村 吉 保 勲
登記専門職	武原 沢 一 謙
事務官	吉村 智 恵子
"	原田 邦 夫
"	和田 裕 勝 一 子
"	大木 本 博 忠 相 生
"	富田 茂
事務補助員	
新南陽出張所	
所長	末廣 利 夫
登記専門職	田中 哲 治
"	岡村 邦 子
事務補助員	山本 美 由 紀
光出張所	
所長	大井 馨
登記官	近藤 芳 成
登記専門職	藤井 隆 弘

事務官 河野 恵美子
 事務官 福田 和幸
 事務補助員 水谷 明子
秋支局
 支局長 長島 定行
 総務係長 守永 辰夫
 統括登記官 阿座上 弘一
 登記専門職 天河 正雄
 登記専門職 山本 智之
 事務官 小野村 和男
 事務官 増山 浩生
 事務官 道子 忠明
 事務官 藤井 裕子
 事務補助員 三戸 雅子
 事務補助員 三戸 明子
須佐出張所
 所長 杉村 靖雄
事務官 大島 康枝
長門出張所
 所長 小林 叶通
 登記調査官 岡藤 康正
 登記専門職 藤森 修
 事務官 藤木 朋子
 事務補助員 佐伯 千賀
岩国支局
 支局長 石田 昌宏
 支局長補佐 水津 恵治
 総務係長 有熊 和部
 統括登記官 林啓 二起
 登記官 金森 吉夫
 登記調査官 藤井 照英
 事務官 齊本 正和
 事務官 中勝 泰和
 事務官 岡田 美男
 事務官 原谷 覚
 事務官 岩井 夕起
 事務補助員 間野 慈

事務補助員 木戸 則子
 事務補助員 中村 博司
 事務補助員 池田 基子
馬車出張所
 所長 坂一 男子
 登記専門職 高松 恵一
 事務官 中嶋 周一
錦出張所
 所長 永田 一義
 事務補助員 森本 孝子
柳井出張所
 所長 竹島 逸夫
 登記官 西山 紀美子
 登記調査官 山本 房夫
 事務官 松原 純春
 事務官 斉藤 和美子
久賀出張所
 所長 矢田部 悟
 登記専門職 池山 真喬
下関支局
 支局長 栗屋 茂信
 (総務課)
 課長 中本 尚成
 総務係長 藤水 彰夫
 供託専門職 林原 勉子
 事務官 原谷 典子
 (登記部門)
 統括登記官 大崎 正則
 登記官 兼安 典一
 事務官 河野 佑房
 事務官 小野 沢三郎
 事務官 岡本 隆基
 事務官 岡村 基晴
 事務官 藤井 学
 事務官 藤野 秀徳

事務官 古武 川信 明夫
 事務官 田村 信泰 秀
 事務官 壹岐 美代子
 事務官 若槻 千明
 事務官 吉野 寿一
事務補助員
豊北出張所
 所長 斉藤 俊英
 事務官 古谷 訓
豊田出張所
 所長 中山 綾子
事務官 藤山 政志
宇部支局
 支局長 古谷 賀春
 支局長補佐 和田 穂満
 統括登記官 武下 光子
 登記官 小川 寿礼
 登記相談官 藤井 靖英
 登記調査官 西村 和夫
 登記専門職 松永 昭善
 事務官 中島 正和
 事務官 蔵田 寛彦
 事務官 勝野 一夫
 事務官 小野村 昌宏
 事務官 垣藤 守
 事務官 水田 裕美子
事務補助員 宇部 登
山陽出張所
 所長 松坂 義人
 登記調査官 山本 隆
小野田出張所
 所長 弥政 忠文
 事務官(併任) 藤川 京彦
 事務官 平尾 輝江
 事務補助員 福重 知

公嘱協会第4回通常総会開催

社団法人 山口県公共嘱託登記土地家屋
調査士協会の第4期役員が決まりました

理事長	竹内 重信	(萩)	理 事	檜山 高明	(防府)
副理事長	小嶋 慎一郎	(山口)	〃	渡辺 満洲生	(山口)
〃	難波 文雄	(岩国)	〃	藤津 浩	(萩)
〃	藤村 美樹	(徳山)	〃	兼清 道寿	(宇部)
専務理事	白井 栄一	(事務局)	〃	平山 正昭	(宇部)
相談役理事	兼川 真介	(徳山)	〃	百合野 俊	(下関)
理 事	岡本 忍	(岩国)	〃	新家 直	(下関)
〃	松田 邦利	(岩国)	監 事	森杉 勇助	(岩国)
〃	宮崎 精雄	(徳山)	〃	谷村 健一	(徳山)
〃	石田 豊	(防府)			以上 19名

第4回通常総会は去る8月5日、小郡町山口グランドホテルにおいて、藤田典人山口地方法務局長始め、山口県住宅供給公社、西日本旅客鉄道株式会社、日本貨物鉄道株式会社等、又、交友団体の各関係団体から15名の御来賓を得、盛会に開かれました。

総会は兼川理事長の挨拶に始まり、各位来賓からの祝辞をうけ、第3期決算報告、平成元年度の事業計画案、予算案の審議が行われました。社員の活発な意見も多くあり、協会運営に対する熱心な社員の心算気が多所に感じられました。

次いで、役員改選に入り、上記新役員が決



まり閉会。総会後の懇親会も御来賓の全員が加わり、なごやかなうちに終わりました。

支部だより

防府支部 松山研修を終えて

防府支部長 山根 勇

2月の本部研修に参加した時、これは人ごとではないと思いました。

本部の仕事だからという気持ちにはなれません。早速、防府支部で対応の仕方を考えなければ、とそういう気持ちで帰りました。

3月の支部の研修会では、大多数の方が私と同様の感を持たれたと思います。まず気になることは、技術的な問題(精度チェックの必要性)、境界確認の手続が不明瞭な点、境界標設置が不十分な点があげられます。これらを会員一人一人が好き勝手にやっているのは、防府支部は取り残されてしまうという危機感が私自身にもありました。



6月17日の支部研修実施は、そうした会員一人一人の業務に対する認識を引き上げていかなければいけないのだという気持ちが会員の多くから湧いてきた結果でありました。とはいえ2度目の研修にあたり愛媛会、山口本部役員の方々には大変御世話になり、お陰をもって今回の研修が実現いたしました。本当



に有難うございました。

6月18日は90分ではありましたが、参加者16名全員今回の研修が大変意義深かったという感想が一人一人から述べられました。

それは、17条地図作製作業ならびにJＲをはじめとする公共職託登記の受注を目前にして防府支部会員の多くの方々の意識改革の第一ステップであったかもしれません。いや、これからそうしなければいけないのです。

愛媛会の業務に対するきめ細かい対応を教えていただきました。課長士はここまでしなければいけないということを会員一人一人が認識して実行しなければいけません。

今後共、宜しくご指導下さいますようお願いいたします。

平成元年6月26日

本部理事四年間の経験

前広報部長

瀬口潤二

第42回の定時総会が終了し、私は4年間の本部理事としての任務から解放されました。

会長、副会長をはじめ、各支部から選出された理事の皆様、特に、広報部で私を支えていただいた徳本先生、田中先生、大変ありがとうございました。

会員の皆様に対しましては、会報発行について、するどい指摘や、アドバイス、ありがとうございました。

また、今、会報を読みかえして見ますと、誤字脱字の修正が不十分であり、皆様には、大変迷惑をおかけしたなあと、反省しているところです。

この4年間の本部理事としての活動を振り返って、土地家屋調査士会の会報の意義というものを考えて見ました。

会報は、我会では、年間3回～4回発行という体制です。旬刊誌的な役割をしていると言えます。

つまり日刊新聞的な即応性は望むべきではないと思います。

会報に対するいろいろな考え方があります。会報の読まれ方といいますか、会報の受け取り手のにとって興味ある事項は何であるのか。このことに会報の発行責任者が敏感に反応しておかなければなりません。そのためには、県内各地の先生方との接触を必要とし、各先生方の見識に対して対応して行くことが有効な手段でしょう。

「会報など読んだこともない」と言われる先生に逢うと悲しくなります。調査士が、業務するためには、調査士会に入会しなければならないことになっています。(この入会制度を軽視されている先生方がいらっしゃるのも事実で、各支部長さ

んの研修会等への不参加者の指導に頭をいためられていることが、これを証明しています。)それにもかわらず、会の活動の表現の場である会報を読まれない方があろうとは//。

会への帰属意識の高揚のための方法論は、別の機会に譲るとして、「会報」発行の責任者として、過去2年間の発行のたびに感じたことを列記しておきましょう。

「会報の表紙の問題」……以前より、表紙の構成は、目次と写真が載っています。これは、過去の会報を検索する時に、ページを開くことなく検索できる便利さを持っています。写真は、一目で調査士会の会報であることがわかる必要から、古地図であったり、歴史的な建築物等であったりします。私の2年間は、7回の発行でしたが、山口県の7支部を管轄する「法務局」の写真に掲載してみました。

「会報」の内容について

最初に書いたように、年4回の旬刊誌的な会報ですので、即時性は廃棄せざるを得ませんので、即時性は全く重視しませんでした。そのため、新年号が1月中に発行できない時など「新年のごあいさつ」が、3月号に掲載されるという失敗もしております。

何しろ、3ヶ月に1回の会報編集といいますが、ちょっと息抜きしていると、アッと言う間に予定期日を過ぎてしまいます。

会報は、発行当初に楽しく読めることという条件も重要でしょうが、会の会報の思い出集といった面も重要なのではないのでしょうか。

たとえば、すでにソフトボール大会は開催されなくなりましたが、第何回のソフトボールは、いつ開催され、あの時は、何支部が優勝したのかということが会報には詳しく載っていて、当時の余韻のようなものを感じることもできます。

私は、会報を編集するため、時々、昔の会報のページを開いて見ますが、当時の会の方針という

か、方向性というものが、会報を通じて伝えて来ます。

私が、「現在、会はこのことをすべきだ」と思っていることを、会では何年も前にそれを実行していることを見ることができます。

そういう意味からすると、この4年間の本部理事の活動が「会報」の発行を中心に活動であったことは、悲常に、いい勉強になったと同時に、重大な責任があったということに気がつきます。

(何年か後、自分の編集した会報が、今後発行されるものとの間でどうであったか評価されるのでしょうから)。



「会報は縦書が良いのか、横書が良いのかの論議について」

私は、会報もそろそろ横書きにされてはどうかという話を聞きましたが、結局、過去の会報のスタイルを継承してきました。

ただ最近の文章は、横書きものが多く、編集上たびたび頭を悩まします。

調査士会の会則も横書に変更され、法務局からの連絡文書も横書がほとんどとなって来ました。数字が多い文書や、アルファベットの多用されている文書は、横書きにしないと読むのに困難です。

日調連発行の会報も横書きです。にもかかわらず、私が横書を拒否したのは、過去の継承と同時に、どうも、日本社会で「読む文書」は、縦書の方が好まれるというか、読み易いのではないかと思われ、横書という大改革の勇気はありませんでした。

日本の三大新聞、ほとんどの週刊誌、雑誌、文庫本などは、縦書きですし、「マンガ本」にしても、横書きはほとんどありません。

これらは、読み手を主体にしたものではないかと思っています。

一方で、横書で多いのは、英字新聞等は別として、学術論文、訳本に多いように思います。これは伝達側の文章だと言うことなのでしょう。

今回から、会報のスタイルの横書きに大変改められるとうかがいました。どんな会報になるのか大変に楽しみにしています。

「タイトル」について

新聞や週刊誌において、ある記事には必ずタイトルがついて毎日そのタイトルを見ただけでその内容がわかる様にしています。

「会報」の読者は限られているので、読者に興味をひきつける「タイトル」を真剣に考えることも必要ないとの考え方も成立つでしょう。

しかし、毎回「定時総会開催される」式のタイトルも芸がなかったかなと反省しています。

とりとめのない文章も終りに近づきましたが、最後に、気がかりと言うか申し訳なかったなと思っていることがあります。

私の編集する間、幸いなことに、貴重な学術的研究論文が、何本か投稿されました。

下関の前田博司先生、岩国の岩倉先生、防府の木下先生、山口の長井先生、岩国の渡瀬先生、岩国の竹森先生の論文は、内容が豊かで、重要な主張であるにもかかわらず、「読みずらく読んでいないよ」という指摘を受けたことが何度かあります。これは、編集責任者の私の編集のまずさからくるもので、申し訳ないと思います。最後に、この会報を読まれた先生方に今一度、前田先生以下の論文を読んでいただけることをお願いします。

新本会長以下新執行部のさらなる飛躍を期待してペンを置きます。

字部支部

瀬口 潤 二

(平成元年8月1日)

4月1日 表示登記の日 無料相談集計表

支部	開催場所	相談者 (人)
岩国	岩国市民会館	5
	柳井市民会館	4
	錦町公民館	3
藤山	藤山市民会館	1
	下松市民会館	3
防府	文化福祉会館	5
山口	司馬会館	3
萩	法務局萩支局	5
	長門物産会館	3
宇部	小野田市勤労青少年ホーム	4
	山陽町役場	3
下関	下関市役所	5
合計	13会場	44



下関市役所にて

登記相談を知った理由

- 1 市町村広報紙 …………… 35人
- 2 ポスター …………… 4人
- 3 ラジオ …………… 3人
- 4 テレビ …………… 1人
- 5 新聞 …………… 1人

平成元年度も、4月1日に県下の会場1ヶ所において、表示登記の日無料相談所が開設されました。

市町村の広報紙や、ポスター、ラジオ等を通じ、土地家屋調査士のPRの場として4月1日が価値づけられ広く市民に知れわたってきました。

無料相談所に御協力頂きました調査士の皆様、大変お疲れさまでした。

事務局だより

会 務 報 告

- 4月 1日(土) 表示登記料相談所開設
 12日(水) 監査会
 18日(火) 法司調三者協議会
 21日(金) 防府支部総会
 22日(土) 理事会・支部長会
 24日(月) 全国公共事業担当者会議
 5月 1日(月) 中国ブロック会会長
 12日(金) 会報運営委員会
 17日(水) 17条地団打合せ
 23日(火) 定時総会
 6月 3日(土) 山口支部総会
 3日(土) 宇部支部総会
 3日(土) 下関支部総会
 10日(土) 萩支部総会
 17日(土) 岩国支部総会
 17日(土) 徳山支部総会
 19日(月) 日調連総会
 20日(火) 合同役員会
 7月 1日(土) 合同役員会
 18日(火) 広報部会
 18日(火) 総務部会
 22日(土) 企画部会
 22日(土) 企画委員会
 23日(日) 企画委員会
 28日(金) 法司調三者協議会
 28日(金) 全国企画担当者会議
 29日(土)

行 事 予 定

- 8月 3日(木) 中国ブロック会会長
 4日(金) 総務部会(於会館)
 22日(火) 総務部会(於会館)
 27日(日) 生涯共働き共栄大会(於会館)
 9月 2日(土) 本部主催研修会(於小郡町)
 7日(水) 中国ブロック協議会定例総会
 8日(金) (於玉造温泉)
 中・下旬 証紙貼付状況確認
 10月 2日(月) 法の日無料相談所協賛
 11月 12日(日) 萩史跡めぐり

会 員 異 動 状 況

1 会員入会状況

支部	氏名	年月日	入会
宇部	中原 恒	元4.1	入会
			宇部市大字東須賀1201番地の20
宇部	永久嘉博	元5.17	死亡
山口	飯沼謙二	元6.30	廃業

2 事務所変更他

支部	氏名	変更事由	年月日
岩国	角田和孝	事務所変更	元3.29
			大島郡穂町大字西安下住11番地の3
宇部	豊野佳秀	住所変更	元5.28
			厚狭郡山崎町大字山野井1555
徳山	藤井奈保子	事務所変更	元4.1
			光市戸作町14-4
下関	田代雄三	事務所変更	元5.30
			下関市組江町2丁目1番1号
下関	浜崎 洋	事務所変更	元6.20
			下関市南陽町22番25号
下関	浜崎 進	事務所変更	元6.20
			下関市南陽町22番25号
山口	青木正治	住所変更	62.1.9
			山口市大字大内御前1162
岩国	中本義生	事務所変更	元7.8
			大島郡穂町大字土居1086番地の1

計 報

謹んでご冥福を祈ります

永 久 嘉 博 殿 (宇部支部)



平成元年5月17日逝去
 享年55才
 (昭和9年3月17日生)
 昭和31年10月11日入会
 昭和52年～54年 理事
 昭和56年～60年 支部長

部会よりのお知らせ

◎ 総務部

第一回部会にて(7月18日)
 7月7日広島県協同表彰候補者の選出について
 中国ブロック会長表彰候補者の選出について
 高齢者福祉促進規定について
 補助者表彰規定について
 会員名簿の作成について
 慶弔規定他、諸規則集の追録について
 以上検討いたしました。

◎ 経理部

部会にて 収支規定について検討

◎ 広報部

7月1日 第1回部会にて会報やまぐちを年4回発行することを決定。7月18日に8月号の会報編集会議を行いました。
 今年から横書きにするなど、大幅な変更を予定しています。尚、次回(11月発行予定)よりの新企画、随時、ご意見がありましたらどしどし御寄稿お願いいたします。

◎ 公共事業部

7月18日の部会において、11月頃に登記部門、用地課等との協議会を開催することを決定。この協議会に提出する課題を会員の皆様に意見を伺っています。課題がありましたら、事務局までご連絡下さい。よろしくお願いたします。

◎ 企画部

7月1日からの報酬額改定に伴い、7月28日～29日東京日調連会議室に於て、全国企画担当委員会が開かれて本会より高田副会長と私が出席し、報酬額改定作業が始まりました。8月3日下関にて、企画部担当理事4名・高田副会長による部会は深夜から翌10日正午に及び、報酬額連年基準、算出明細書、目安基準計算例を検討策定し、9月2日日本研修会に間に合うよう日曜日に出しました。

10月中旬に中央から講師を招き「登記の自動化について」の研修を行なうことを決定しました。

◎ 厚生部

8月27日(日)司馬会館にて選手大会
 四国ブロックから8月9日(土)～10日(日)中国地区(岡山、広島、山口)3県に対して、親睦行事(フットボール)の参加要請があり、本年2月17日～18日企画委員会が愛媛会で大変お世話になったことでもあり、各支部から選抜選手を派遣、広島会と合同チームとして参加することになりました。各支部を巡回した史跡巡りは本年は11月12日(日)萩支部の引受けで行なわれます。どのような企画が組まれますか、萩支部はじめ会員の皆様よろしくお願いたします。



リコーのイメージング情報処理技術が明日の統合OAシステムを実現します。

技術とサポート力で お役立ちの RICOH

お問い合わせ

出口リコー番	0839(27)4530 0839(27)4440
リコーテクノネット番	0839(23)2477
OAテレフォンセンター WP	082(246)1299 パソコン 082(248)3217

ご用命は…

本 社	徳山中央ビル5F 0837 8-1 〒745 0854 15-112 201
岡山支店	徳山南橋町 3-4-9 〒745 0826 12-67 69
徳島支店	徳島市南町 6-12-5 〒742 0835 12-73 27
山口支店	山口大正11番地支店 0826-01 〒753-02 0825 27-4 449
松江支店	松江大正11番地支店 0852-10 〒753-02 0836 27-4 449
新 潟 支 店	新潟市見沼2-1-6 〒950 0892 11-9 372
宇都宮支店	宇都宮市本町 3-3-35 〒325 0830 31-6 611
下 関 支 店	下関市一の宮町 2-16-13 〒751 0852 16-8 9 69

目 次

定期総会開催	2
会長就任あいさつ	3
副会長就任あいさつ	4
本部新組織決定	6
燃える理事の一言	7
綱紀委員長就任あいさつ	8
各支部長の抱負	8
山口地方法務局職員名簿	10
公嘴協会総会開催	12
支部だより 〔松山研修を終えて〕	13
本部理事4年間の経験	14
4月1日表示登記無料 相談集計表	16
事務局だより	17
部会よりのお知らせ	18

発 行 山口県土地家屋調査士会
山口市駅通り2丁目9番15号
電 話(0839)22-5975
F A X (0839)25-8552
振 替 下関 9-11085

発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 新本清人
広報担当副会長 竹内重信
広 報 部 長 田中拓朗
部 員 鶴巻栄一
野上茂樹
河村誠一

印刷所 桜プリント企業組合
山口市旭通り1-6
電 話(0839)22-1712

表紙のことば

貴船神社の夏まつり(徳山市稲島)
潮に生きる男達が、海の安全と豊漁
を祈願して行ったと伝えられる。
別名「ホーランエー」とも呼ばれ、
親子代々、肌で伝え、守り継がれている。

